

令和5年度 あべの翔学高等学校 学校評価

I めざす学校像

<p>1 人徳を経とし実務を緯とする</p> <p>人徳と実務を兼ね備え、将来、社会で貢献できる生徒を育成することを建学の精神とし、「立志、礼節、誠実、勤勉」を校訓とする。</p> <p>2 学力だけでなく「こころ」の面での成長を大切にし、生活指導面での厳しくもきめ細やかな指導をととして社会生活に適切に対応し、活躍できる教育活動を実践する。</p>

II 中期的目標

<p>1 学力向上</p> <p>ベネッセ総合学力テスト偏差値 50 を達成する。</p> <p>2 進路指導</p> <p>生徒・保護者の希望、本人の実力を勘案して、適切な進路指導を行う。</p> <p>3 生徒指導</p> <p>基本的な生活習慣の習得</p> <p>4 生徒会・クラブ活動への積極的参加</p> <p>生徒会、課外活動を通じ、勉学との両立を図りながら、秩序・リーダーシップ・協調性等のチームワークや人間関係の育成を図る。</p>

III 本年度の取組内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 学力向上	(1)基礎学力の向上	a 特進Ⅰ類、特進Ⅱ類の生徒を中心にベネッセ相応学力テストを受験し、各教科での偏差値向上、総合点での偏差値向上を目指す。	a ベネッセ総合学力テスト偏差値 50 の達成	受験者数は少ないが、国語・数学・英語について現3年生、現2年生の学年別偏差値は少しずつではあるが上昇している。また、同学年の同コースの偏差値も一部のコースを除いて上昇している。受験者数の増加を図ると共に不得意科目の対策を行い、基礎学力の向上に努める。

【基礎力診断テスト偏差値】

	学年	国語		数学		英語		日本史		化学	
		現3年生	現2年生	現3年生	現2年生	現3年生	現2年生	現3年生	現2年生	現3年生	現2年生
特進Ⅰ類	1年	42.2	39.1	40.8	36.4	42.9	42.6	--	--	--	--
	2年	39.2	40.8	40.0	41.5	45.1	45.7	40.0	42.2	40.6	39.6
	3年	56.8	/	37.9	/	42.6	/	32.2	/	35.1	/
特進Ⅱ類	1年	38.2	40.5	40.4	35.8	39.5	40.1	--	--	--	--
	2年	39.9	38.0	38.0	38.4	40.6	40.4	41.7	40.1	40.6	--
	3年	48.8	/	--	/	42.4	/	41.1	/	38.3	/
学年全体	1年	38.9	32.7	40.3	36.1	40.4	40.7	--	--	--	--
	2年	39.7	39.0	38.6	39.6	42.1	42.4	41.5	40.8	40.6	39.6
	3年	50.4	/	37.9	/	42.5	/	39.3	/	35.9	/
受験者数	1年	38	24	38	24	38	24	--	--	--	--
	2年	27	20	27	19	27	19	21	20	6	2
	3年	5	/	3	/	9	/	5	/	4	/

2 進路指導	(1)進路指導対策の早期実施	a 進路希望調査の早期開始、早期対策	a 四年制大学進学率向上	令和5年12月末時点の令和6年3月卒業生徒の大学合格数は以下のとおり																																												
	【進路結果】	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">進学者</th> <th colspan="3">就職者他</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>大学</th> <th>短大</th> <th>専門</th> <th>小計</th> <th>就職</th> <th>その他</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卒業生</td> <td>94</td> <td>15</td> <td>58</td> <td>167</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>32</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>構成比(%)</td> <td>47</td> <td>8</td> <td>29</td> <td>84</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>前年度構成比</td> <td>47</td> <td>4</td> <td>32</td> <td>83</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>			進学者				就職者他			合計	大学	短大	専門	小計	就職	その他	小計	卒業生	94	15	58	167	20	12	32	199	構成比(%)	47	8	29	84	10	6	16	100	前年度構成比	47	4	32	83	7	10	17	100	<ul style="list-style-type: none"> 近畿大学 合格数 43 (工学部 18、生物理工学部 13、産業理工学部 8、理工学部 2、国際学部 2) 京都産業大学 合格数 6(文化学部 6) 摂南大学 合格数 4(薬学部 2、理工学部 2) 神戸学院大学 合格数 4(薬学部 4) 追手門学院大学 合格数 9 他 	
	進学者				就職者他			合計																																								
	大学	短大	専門	小計	就職	その他	小計																																									
卒業生	94	15	58	167	20	12	32	199																																								
構成比(%)	47	8	29	84	10	6	16	100																																								
前年度構成比	47	4	32	83	7	10	17	100																																								
3 生徒指導	(1)基本的な生活指導の習得	a 遅刻指導強化期間の設定 b 服装、身嗜み指導の徹底	a 遅刻回数の削減に努める b 通学路立ち番指導 100%	(1)遅刻回数の学年別・年次別回数は左記のとおりである。 3年生の3年次は大きく遅刻回数が減少していることは特筆することである。 (2)学年別遅刻回数分布では、各学年とも11回超遅刻する生徒が35%相当に達しており、個別指導を行っているが、未だ明らかな成果は出ていない。 (3)一方、3年生については遅刻回数0回の生徒が31%に達しており、生活指導の成果が表れていると思う。																																												
	【学年別・年次別遅刻回数】	【学年別遅刻回数分析】																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回/人年</th> <th>1年次</th> <th>2年次</th> <th>3年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年生</td> <td>5.3</td> <td>12.6</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>7.4</td> <td>10.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td>9.4</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回/人年	1年次	2年次	3年次	3年生	5.3	12.6	4.3	2年生	7.4	10.8		1年生	9.4			<table border="1"> <thead> <tr> <th>%</th> <th>1年生</th> <th>2年生</th> <th>3年生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0回</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>2~5回</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>6~10回</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>11回超</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>381</td> <td>214</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>		%	1年生	2年生	3年生	0回	19	19	31	1回	12	14	5	2~5回	21	18	17	6~10回	14	14	13	11回超	34	35	34	人数	381	214	200	
回/人年	1年次	2年次	3年次																																													
3年生	5.3	12.6	4.3																																													
2年生	7.4	10.8																																														
1年生	9.4																																															
%	1年生	2年生	3年生																																													
0回	19	19	31																																													
1回	12	14	5																																													
2~5回	21	18	17																																													
6~10回	14	14	13																																													
11回超	34	35	34																																													
人数	381	214	200																																													
4 生徒会・クラブ活動	(1)クラブ活動の活性化	a クラブ参加率の向上 b 市大会、府大会等での成績向上	a 軟式野球部、軽音楽部、吹奏楽部の大会成績向上	今年度に運動場を人工芝生化し、軟式野球部ほかの運動部が練習し易い環境を整えた。 今年度も軟式野球部は優秀な成績を収めることができた。 また、新たに陸上競技部の女子砲丸投げでは、近畿大会に出場し自己ベスト記録を更新、6位入賞という素晴らしい成績を収めることができた。																																												
	【主なクラブ大会成績】																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>大会名</th> <th>成績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">軟式野球部</td> <td>春季近畿地区高等学校軟式野球大会</td> <td>優勝</td> </tr> <tr> <td>全国高等学校軟式野球選手権 大阪大会</td> <td>準優勝</td> </tr> <tr> <td>大阪私立高等学校総合体育大会</td> <td>優勝</td> </tr> <tr> <td>陸上競技部</td> <td>第56回近畿高等学校ユース陸上競技対抗選手権大会 女子砲丸投</td> <td>近畿大会 6位入賞</td> </tr> </tbody> </table>	クラブ名	大会名	成績	軟式野球部	春季近畿地区高等学校軟式野球大会	優勝	全国高等学校軟式野球選手権 大阪大会	準優勝	大阪私立高等学校総合体育大会	優勝	陸上競技部	第56回近畿高等学校ユース陸上競技対抗選手権大会 女子砲丸投	近畿大会 6位入賞																																		
クラブ名	大会名	成績																																														
軟式野球部	春季近畿地区高等学校軟式野球大会	優勝																																														
	全国高等学校軟式野球選手権 大阪大会	準優勝																																														
	大阪私立高等学校総合体育大会	優勝																																														
陸上競技部	第56回近畿高等学校ユース陸上競技対抗選手権大会 女子砲丸投	近畿大会 6位入賞																																														

IV 総合評価

評価	自己評価	次年度の改善方針
B	現3年生へのきめ細かな学習指導、受験対策を行った結果、近畿大学への合格実績数43を挙げる事ができた。 また、最近のIT教育環境の充実、クラブ活動での優秀な成績もあり、令和5年度入学者が381名(前年比144名増)となり一定の成果が出始めた。	教育環境の充実と共に、教育内容においても生徒の関心、やる気を引き出すことが出来るコンテンツを導入して行く必要がある。 また、現1・2年生と令和6年度の入学者に対して、途中退学者数の低減を図るため、生徒個々の個性・得意不得意を充分把握した指導を行って行く所存である。

V 学校関係者評価

今年度の重点目標	学校関係者評価委員会意見	次年度の改善方策
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・受験者数は少ないが、少しずつ上昇していることは評価できる。引き続き基礎学力向上に努めて欲しい。 ・今年は進学者が大幅に伸びていて、周りの環境も大きく影響していると思う。 ・評価基準がベネッセ総合学力テストのみでは受験者のことしか分らない。 ・現状の入りやすい学校というのが評価されていると思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベネッセ総合学力テストの成績評価は特進Ⅰ・Ⅱ類クラスの実力を計るため引き続き実施する。 ・1～3年生各学年及び学校全体の学力向上を計る指標を確立してゆく。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学なんて無理だと思っていたが、先生の熱心な指導のおかげで合格することが出来ました。学校と先生方の取り組みが素晴らしいので、今後も続けて欲しい。 ・半数の卒業生が4年制大学に進学していることは素晴らしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難関大学に進学した卒業生を招き、日常学習の進め方、試験対策などの経験談を在校生へTTしてゆく。 ・大学・専門学校の説明会、進路指導を継続して実施する。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・時間通りに来ることは当たり前だという風土を引き続き作って定着させて欲しい。 ・先生方の声掛けが良かったと思います。 ・Googlemapの学校へのコメントで、躰がなっていない、エレベータを譲らないなど否定的なコメントが目立っています。学校外へ出た時のマナーを守るなど日頃の指導が必要と思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守るという社会人としての最低限のマナーを身に着けるよう継続して指導してゆく。 ・生徒が道徳的価値を理解し、マナーを守った行動を実践できるよう課外授業や日頃の指導を通じて経験を積んでゆく。
生徒会・クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校人気の高まりに大きく影響しているクラブ活動、高校生の時に打ち込めるものがあるかないのでは大きな違いがあります。顧問の先生方の熱心なご指導に感謝しています。 ・軟式野球部が強いことが最大の評価するポイントだと思います。吹奏楽部が目に見えるタイトルがないのが残念ですが、陸上部のこれからの成績に期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野球部、吹奏楽部以外にも顕著な成績を上げているクラブがあることを積極的に内外にPRしてゆく。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・IT教育の充実とクラブ活動の強さが当校の魅力となるようこれまで通り熱意のある教育を継続して下さい。 ・一人ひとりときちんと向き合ってください、本人達のやる気が遅刻減や受験へのやる気に繋がったと思います。 ・先生方が心身ともに安心して長く勤められる環境を作っていくようお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒、先生一人ひとりがコミュニケーションを密にとり、お互いを認め合い尊重し合えるよう、日々の教育活動や学校行事の中で指導し、共に活動していく。